

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	職業指導		
英文授業科目名	V o c a t i o n a l G u i d a n c e		
開講年度	2004年度	開講年次	4年次
開講学期	7, 8学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	4
科目区分	専門科目-専門共通科目-自由科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	山中 冨子		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>本講義では、職業指導を進路指導と広く捉え、諸理論と実践について学ぶことを目的としています。しかしその前に、高校生の心理的、社会的、経済的位置や高等学校という教育機関の意義など、進路指導を支える土台として考えるべき事柄についての検討を行います。</p> <p>他者の進路選択に関わるという重大性から、上記の学習もさることながら、受講生の皆さんが自身の進路選択における経験と思いを客観的に分析していくことを求めます。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
教育学関連の講義を履修しておくことが望ましいです。

【教科書等】
<p>参考書： 宮本みち子『若者が<社会的弱者>に転落する』洋泉社</p>

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

前期は進路指導にまつわる理論が中心です。青年期（心理・社会・経済的観点）について、高等学校の教育的意義について、進路指導の諸理論（日本及びアメリカ）、中退の可能性のある生徒達（アト・リスク）の問題などについて学びます。後期は進路指導の実際について学習しますが、文献購読も予定しています。また、特定の事柄を取り上げ、議論する時間を設けることも考えています。（例えば、フリーターについてどう考えるか？等）

(b) 授業の進め方

この時間では、受講生の皆さんが自身の進路選択における経験や思いについて向かい合うことを求めます。毎時間こちらでレジュメをきりますが、毎回テーマにひきつけて自身の考えを語ってもらうので、積極的参加を。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

前期・後期ともに、出席とレポートを総合評価します。

成績評価 出席 50%
レポート 50%

(b) 評価基準

- ・進路指導について、高校教育について、自分の経験を大切にしながらも、考えを深めることができたか。
 - ・進路指導の諸理論を理解し、自分の見解をもつことができたか。
- 以上を評価基準とします。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。適宜相談に応じます。電子メールでの質問も受け付けます。

【学生へのメッセージ】

自分の思いや考えなどを気軽に語り合う時間を多く取りたいと考えています。積極的参加を期待します。

【その他】